

飼料用米活用シンポジウムのご案内

超多収穫飼料用米が 日本の畜産と 水田農業を変える

参加費
無料

消費者の飼料用米への期待が、
畜産と稲農家の連携を進める原動力となっております
日本の農業と食卓の未来を一緒に考えてみませんか

日時：2011年1月27日(木) 11:00~17:00

場所：ホテルグリーンプラザ大阪 アネックス 7F

(大阪駅より徒歩7分 地図は裏面)

開催内容

第一部 飼料用米の取組み事例展示と試食

11時~12時45分

第二部 シンポジウム(講演、事例報告及びパネルディスカッション)

13時~17時

飼料用米給与畜産物・加工品の

試食

数に限りあり

開催内容の詳細、参加のお申込みは、裏面へ

定員
280名

現地視察

(飼料用米給与農場と、琵琶湖の環境保全に
貢献する低コスト栽培農場)

同時開催

開催日時 1月26日(水) 13:10~

集合場所 JR堅田駅南口
解散18:00(JR堅田駅)

視察先 比良利助農場・湖西飼料米ほ場
(飼料用米給与養鶏場、循環型農法で飼料用米栽培、
中村利男さんの農場)

宝牧場

(乳肉複合経営に加え、高島循環農業センターが栽培した
飼料用米を飼育豚に給与)

高島循環農業センター

(循環型農業、飼料用米の低コスト栽培を実践)

定員
50名

主催：日本草地畜産種子協会
協力：超多収穫米普及連絡会
後援：農林水産省

ホテルグリーンプラザ大阪アネックスへの
アクセス図 (JR大阪駅南口から徒歩7分)



ホテルグリーンプラザ大阪アネックス
大阪市北区中崎西 2-3-21
TEL 06-6374-1535

1月27日 プログラム

- 第一部 展示と試食 11時～12時45分**
全国各地の飼料用米の取組み事例・研究成果のパネル展示
及び飼料用米を給与した畜産物の試食
- 第二部 シンポジウム 13時～17時**
- I 基調講演**
「飼料用米を活かす日本型循環畜産が日本の農業を変える」
東京農業大学准教授 信岡 誠治氏
- II 事例報告**
- 飼料用米生産の事例**
J Aひたち野 (茨城県) 水田農業担当 島田 大久氏
 - 飼料用米給与の事例**
滋賀県飼料米利活用推進協議会 会長 中村 利男氏
同 事務局長 佐原 正哉氏
 - 首都圏における消費者と連携した取組みの事例**
生活クラブ生協連合会 会長 加藤 好一氏
 - 消費者と連携した取組みの事例**
京都生協 産直・地産地消推進担当 福永 晋介氏
- III パネルディスカッション**
座長 社団法人日本草地畜産種子協会会長 信國 卓史
パネラー 上記講演者・報告者、農林水産省担当官

シンポジウム参加申込書 1月14日(金)必着

必要事項をご記入の上、**03-3251-6507**へFax または、下記に郵送して下さい。
なお、参加申込みいただいた個人情報、本シンポジウムの運営に係ること意外には使用いたしません。
また、定員を超過した場合、お断りさせていただくことがあります。お断りの場合のみ電話にて連絡いたします。

郵送受付 社団法人日本草地畜産種子協会
〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町8番地 アセント神田紺屋町ビル4階
Tel 03-3251-6501

ご所属	お名前	お電話番号

現地視察参加申込書 1月11日(火)必着

必要事項をご記入の上、上記と同様に送信・送付してください。

お名前	お電話番号	参加欄(参加項目に○印を記入して下さい)		
		現地視察	懇親会	宿泊

現地調査時に、宿泊・懇親会を希望される方は、別途、ご案内させていただきます。
現地視察参加無料、宿泊(1泊2食懇親会込み)7,800円、懇親会のみ参加 5,100円程度